

2025年 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2025年12月15日

事業所名：運動遊びと療育支援 こどもプラス柏教室

対象人数（保護者）17人 回答者数 16人 回収 94.1%

		チェック項目	とても満足	概ね満足	やや不満	不満	わからぬ	ご意見	教室からのコメント
満足度	1	お子様は安心感をもって通所していますか？	16						これからもお子様にとって安心感をもって通える教室であるよう尽力してまいります。
	2	お子様は楽しんで通所していますか？	15	1					これからも教室での活動に満足していただけるよう努力してまいります。
環境・体制整備	3	怪我がないように安全に配慮した空間と活動の提供がされていますか？	15	1					これからもお子様にとって安全な教室にしていけるよう尽力してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、整理整頓がされており、活動に適した空間になっていると思いますか？	13	3				・時々お邪魔すると先生方がお掃除されてて使ってるものも消毒したりありがとうございます。	・ありがとうございます。お子様が安全に遊べるようおもちゃの消毒は毎日行っています。
	5	お子様にとって活動のスペースは十分だと思いますか。 尚、こどもひとり当たりの活動スペースは、2.47m以上と設備基準には定められています。	11	5					人数や活動に応じて安全に過ごせるように配慮しております。
	6	職員の配置数は適切で十分だと思いますか。尚、定員10名以下の施設では、保育士または児童指導員の人員配置は2名以上と人員配置基準に定められています。	11	4			1		職員の配置は基準を上回っております。専門性を高めるために月一回程度運動遊びの研修を行っております。また、さらに知識向上のためにオンライン研修を導入し、受講しております。
	7	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。 (※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。)	14	2					どこに何があるか分かるように棚やロッカーを配置しており、視覚的に分かりやすい構造にしてあります。
適切な支援の提供	8	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	3					お子様に楽しい体験を積んでいただき、ここに来たいと思って通っていただけるような活動内容を提供できるよう、これからも色々な取り組みを行っていきたいと考えております。
	9	教室がホームページで公表している支援プログラム（※2）は、実際に提供されている支援内容と合っていると思いますか。 (※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るために、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。)	11	5					ホームページに掲載されている「柳澤運動プログラム」に基づき、活動内容を組み立て、提供させていただいております。
	10	こどものことを十分理解し、こどもや保護者のニーズや課題に沿ってが客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 (※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するまでの留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。)	15	1					普段のお子様の様子から好きなことや得意なことはもっと伸ばせるよう、苦手なことや課題点は少しづつできるようになるように個別支援計画を作成しております。
	11	児童発達支援計画に沿った内容で、支援が行われていると思いますか。	13	3					児童発達支援計画に基づき、療育プログラムを考え行っています。
	12	社会的な活動や外部でのイベントなど、多様な活動が提供されていますか？※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	13	2			1	・家庭の事情で祝日や休日のイベントになかなか参加出来ないのが残念です。 ・参加したことがない。 ・イベントは人数制限があり、利用していない曜日だと応募しにくい。	・夏祭りやクリスマスイークなど、平日にもイベントを行っておりますので、ぜひご参加いただけたらと思います。 ・イベントは先着順とさせていただいております。ご利用曜日でなくとも、遠慮なくご応募いただけたらと思います。
保護者への説明	13	教室を利用する際に、サービスの内容と提供時間の範囲などが記載された運営規程、支援プログラム、利用者負担(費用)等について十分な説明がありましたか。	13	3					ご契約させていただく際に説明させていただいております。ご質問やご不明な点等をいただいた時も、その都度ご説明させていただいております。
	14	「児童発達支援計画」を示しながら、支援目標や内容の説明がありましたか。	16						家族のご希望やご要望、児童支援利用計画案、発達評価や発達検査の結果などを総合的に捉えた上で、児童発達支援計画を作成し、保護者様にご提示しながら支援内容の説明を行なっております。
	15	教室では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等※4)や家族等も参加できる研修会や情報の提供が行われていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。 (※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。)	7	5			4		年に数回親子イベントを開催し、情報提供の場とさせていただいております。ご家族等も参加できる研修等の機会も増やしていきたいと考えております。
	16	日頃からお子様の状況について情報交換がされ、健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	11	5					送迎時や保護者様によるお迎え時にお話しさせていただいていると、その上でお子様の状態や課題について、ご家族様と一緒に考え共通理解に努めています。
	17	定期的に、面談が行われたり、助言を受ける機会はありますか。	12	4				・面談の時期が固定されてないので前期後期で1回づつみたいな形でしていただけたらありがとうございます。	・個別支援計画の更新（半年に1回以上）の際に面談とさせていただいているますが、ご心配なこと、ご不安なこと等ございましたら、ご連絡をいただければ、いつでも対応させていただきますので、お気軽にお連絡ください。
	18	教室の職員から共感的に支援をされていると感じますか。	13	3					今後もお子様や保護者様に寄り添った支援ができるよう尽力してまいります。
	19	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	3	7	1		5	・まだ参加した経験がないのでわかりません。	年に数回親子イベントを開催し、懇親会を開催しております。ぜひ多くのご家庭に来ていただけたらと思います。ご希望を頂いた際には、ごきょうだいの支援にも入らせていただけております。
	20	相談や苦情解決の体制があり、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応がされていると思いますか。	11	5				・電話がつながりにくい。 ・電話が繋がりにくいとのことで申し訳ありません。お手数をおかけしますが、教室の電話で繋がらない場合は、教室所有の携帯電話にお電話いただけたらと思います。	・相談やお申入れがございましたら、速やかに対応してまいります。
	21	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため、十分な配慮がなされていると思いますか。	13	3					できる限りお子様の日々の出来事や情報を共有させていただきたいと思っております。今後も何か気になる点等がございましたらいつでもご連絡ください。
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	4					今後も日々の活動の様子等をお伝えし喜んでいただけるよう工夫していきたいと思います。何かご要望等ございましたらお申し付けください。
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	4			1		個人情報保護の重要性を全職員で共有し個人情報の適切な取り扱いと保護に努めています。

非常時等の対応	24 教室では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	5					施設として必要なマニュアルは整っております。避難経路等、緊急時に必要なものは事務室と指導訓練室に掲示し、常にご覧いただけようにしております。また、マニュアルの記載内容も変更が必要な箇所はないか見直しも行っております。
	25 教室では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出など必要な訓練が行われていますか。	12	3			1		年2回避難訓練を計画しております。ご利用者様全員が訓練に参加できるように期間を設け、保護者様に通知の上、指定されている避難場所「柏第三小学校」まで歩いて行くように避難訓練計画を立てております。
	26 教室より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	3					安全計画につきましては、保護者様にも共有させていただいております。また、お子様に事故やけがのないように設備等の安全点検を行うと共に、危険予測をし環境を整えるよう心掛けております。
	27 事故や怪我などが発生した際に、教室から速やかな連絡や状況等の詳細について説明が十分にされていますか。	9	5			2	・事故や怪我など発生したことがない。	事故やケガ等が起こった場合は、お子様の安全が確保され次第、すぐに保護者様へご連絡させていただいております。また、契約の際にもご説明させていただいております。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス柏教室

公表日 2025年12月15日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員10名に対し、指導訓練室が40m ² 以上確保できているか	7		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	現在は第3者による外部評価は行っていない。今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		
支援計画	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	HPにて公表をしている。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	6ヶ月に1回、アセスメントを実施して個別支援計画書を作成している。よりニーズや課題を分析できるよう他職員と意見交換しながら進めていく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	・児童発達支援管理責任者が積極的にまわりに働きかけ、支援会議の時間を確保する必要がある。 ・検討会議が実施できるよう、教室全体の仕組みとして時間を設定する。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	・HUGで確認ができる。作成したあとに職員への周知はできていないため、今後周知できるよう検討していく。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		

適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	・個別支援計画書の具体的な支援内容について、担当者会議の時間を確保していき、よりよい内容となるよう進めていく。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・主任を中心に都度相談しながら行っている。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	3	・より適正なタイミングでのモニタリングが実施できるよう、検討していく。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・常に連携が取れるよう、関係構築をしている。
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・学校との情報共有をしていけるよう、保護者の意向を尊重しながら関係機関との連携を丁寧に進めていけるよう体制を整えたい。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	・研修を受ける機会は設けている。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	2	5	・実施する機会を作ることができていない。今後検討していく。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・保護者への相談援助はできていると思うが、ペアトレ等の研修の機会は提供できていないと思う。 ・情報提供も積極的に実施していくよう検討していくたい。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	・モニタリングを通して、ご家族の意向を確認している。お子様の意向も聞き取れるよう機会をつくっていく。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	・保護者交流、きょうだい同士の交流の場はもっと増やしても良いと感じる。今後検討していくたい。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・実施する機会を作ることができていない。今後検討していく。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・地震発生時以外（不審者、火事等）の避難訓練の必要性を感じる為、今後検討していく。
非常時等の対応	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・通常療育の場では食物提供を行っておらず、医師の指示書の提出を求めていない。イベントで食物を扱う際には、都度保護者にアレルギーの有無を確認しているが、参加者に対象児がない。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		